

# 令和6年度 千葉県立市原高等学校 学校自己評価の結果について

- 1 生徒・保護者・教職員による学校評価アンケート
- 2 学校運営協議員による学校評価アンケート

# 1 保護者・生徒・職員による学校評価アンケートについて

(1)アンケート実施時期 令和6年12月

(2)調査対象及び回答数等

区分	保護者※1	生徒	教職員
	177	177	40
回答数	93	158	28
回答率	52.5%	89.3%	70.0%
質問事項	16	14	19

※1 保護者の回答は、一家族につき1回答を求めた。

※2 保護者・生徒ともにFormsで調査を実施した。

※3 全て無記名で回答とした。

## (3)結果

### ① 結果概要

区分	保護者	生徒	教職員
肯定的回答の多い項目の数 (全調査項目に対する割合)	16項目	14項目	19項目
令和6年度	100%	92.9%	89.5%
令和5年度	100%	92.9%	100%
令和4年度	94.7%	78.6%	94.7%
否定的回答の多い項目の数 (全調査項目に対する割合)	0項目	0項目	0項目
令和6年度	0%	0%	0%
令和5年度	0%	0%	0%
令和4年度	0%	0%	0%

※ 調査項目は令和4年度と同じである。

※ 肯定的回答の多い項目：「そう思う」・「ややそう思う」の割合が70%を超えるもの

※ 否定的回答の多い項目：「そう思わない」・「あまりそう思わない」の割合が50%を超えるもの

## ② 昨年度と比べ大きく変動のあった項目

	保護者	生徒	教職員
肯定的回答が昨年比5ポイント以上増加したものの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校は、ゴルフ体験やしめ縄作り体験、地域清掃ボランティアなどをとおして、地域についての理解が深まっている。</li> <li>・授業内容や教え方を工夫したり、資料やICT機器（パソコン、スマートフォン）などを活用し、授業がわかりやすく行われている。</li> <li>・少人数授業やチームティーチング（2人の先生による授業）などを行いながら、きめ細やかな授業が行われている。</li> <li>・授業を通して、教科の知識や技術が身についている。</li> <li>・先生方は、生徒に対して社会生活に必要なルールやマナー等の声かけを行っている。</li> <li>・講演会や各種の訓練を通して、交通安全・人権尊重・いじめ防止・道徳・防災などに積極的に取り組んでいる。</li> <li>・保護者からの問合せ等に対して、親切に対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校は、ゴルフ体験やしめ縄作り体験、地域清掃ボランティアなどをとおして、地域についての理解が深まっている。</li> <li>・講演会や各種の訓練を通して、交通安全・人権尊重・いじめ防止・道徳・防災などに積極的に取り組んでいる。</li> <li>・進路行事が充実しており、進路に関する情報発信や進路指導が適切に行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校は、個人情報などのセキュリティ管理が適切に行われている。</li> </ul>

<p>否定的 回答が 昨年比 5ポイ ント以 上増加 したも の</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市原高校に入学して良かった。</li> <li>・ホームページやマチコミメール、Teams（チームズ）等を活用し、学校の情報がよく届いている。</li> <li>・文化祭や体育祭などの学校行事は、活発に行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職は、職員とのコミュニケーションを図り、リーダーシップを発揮している。</li> <li>・本校の学習評価は、生徒や保護者にていねいに説明し、公平・公正かつ適切に行われている。</li> <li>・本校は、生徒の進路目標達成に向け、キャリア教育（就業意識を高める教育）を推進している。</li> <li>・本校は、十分な情報提供を行い、学校・本人・家庭の意思疎通を図りながら、ていねいな進路指導を行っている。</li> <li>・本校は、文化祭や体育祭などの学校行事の指導に力を入れている。</li> <li>・本校は、部活動や委員会活動、ボランティア活動などの指導に力を入れている。</li> <li>・仕事に充実感を感じている。</li> </ul>
--	--	---	---

### ③ 結果詳細

(ア) 令和6年度 保護者による学校評価結果 [昨年度との比較]

評価	前年比	番号	質問項目					合計	参考値		
				あてはまる (そう思う)A	ややあてはまる (やや思う)B	あまりあてはま らない (あまりそう思わ ない)	あてはまらない (そう思わない)		令和6年度 A・Bの割 合	令和5年度 A・Bの割 合	
◎	↓	1	市原高校に入学させて良かった。	人数	54	30	5	4	93	90%	92%
				割合	58%	32%	5%	4%			
◎		2	ホームページやマチコミメール、Teams(チームズ)等を活用し、学校の情報がよく届いている。	人数	46	38	8	1	93	90%	89%
				割合	49%	41%	9%	1%			
◎	↑	3	学校は、ゴルフ体験やしめ縄作り体験、地域清掃ボランティアなどとおして、地域についての理解が深まっている。	人数	47	43	2	1	93	97%	89%
				割合	51%	46%	2%	1%			
◎	↑	4	授業内容や教え方を工夫したり、資料やICT機器(パソコン、スマートフォン)などを活用し、授業がわかりやすく行われている。	人数	35	50	7	1	93	91%	79%
				割合	38%	54%	8%	1%			
◎	↑	5	少人数授業やチームティーチング(2人の先生による授業)などを行いながら、きめ細やかな授業が行われている。	人数	38	46	7	2	93	90%	79%
				割合	41%	49%	8%	2%			
○	↑	6	授業を通して、教科の知識や技術が身につけている。	人数	30	52	9	2	93	88%	80%
				割合	32%	56%	10%	2%			
○	↑	7	先生方は、生徒に対して社会生活に必要なルールやマナー等の声かけを行っている。	人数	35	48	8	2	93	89%	79%
				割合	38%	52%	9%	2%			
○	↓	8	学校生活において、先生に悩みごとを相談しやすい雰囲気がある。	人数	23	42	21	7	93	70%	72%
				割合	25%	45%	23%	8%			
○	↑	9	講演会や各種の訓練を通して、交通安全・人権尊重・いじめ防止・道徳・防災などに積極的に取り組んでいる。	人数	24	53	12	4	93	83%	74%
				割合	26%	57%	13%	4%			
○	↑	10	進路行事が充実しており、進路に関する情報発信や進路指導が適切に行われている。	人数	30	49	12	2	93	85%	82%
				割合	32%	53%	13%	2%			
○	↓	11	将来や進路の希望について、先生は熱心に相談にのってくれる。	人数	35	43	12	3	93	84%	84%
				割合	38%	46%	13%	3%			
○	↓	12	文化祭や体育祭などの学校行事は、活発に行われている。	人数	42	39	10	2	93	87%	90%
				割合	45%	42%	11%	2%			
○	↑	13	部活動や委員会活動、ボランティア活動などは、活発に行われている。	人数	31	41	19	2	93	77%	75%
				割合	33%	44%	20%	2%			
○	↑	14	施設・設備は、安全で過ごしやすくなっている。	人数	24	49	16	4	93	78%	70%
				割合	26%	53%	17%	4%			
○		15	PTA活動(PTAだより、文化祭への参加など)は、活発に行われている。	人数	32	44	15	2	93	82%	82%
				割合	34%	47%	16%	2%			
◎	↑	16	保護者からの問合せ等に対して、親切に対応している。	人数	39	45	7	2	93	90%	85%
				割合	42%	48%	8%	2%			
								平均	86%	81%	

指標の見方【評価】◎:90%以上が肯定的 ○:70%以上が肯定的 △:30%以上が肯定的 ▲:肯定的が30%未満  
【前年度比】↑:+5%以上 ↑:+2%以上+5%未満 ↓:-2%以上+5%未満 ↓:-5%以上

(イ) 令和6年度 生徒による学校評価結果 [昨年度との比較]

評価	前年比	番号	質問項目		人数	あてはまる (そう思う) A	ややあてはまる (やや思う) B	あまりあてはま らない (あまりそう思わ ない)	あてはまらない (そう思わない)	合計	参考値	
											令和5年度 A・Bの割合	令和4年度 A・Bの割合
○	↓	1	市原高校に入学して良かった。	人数	62	59	27	10	158	77%	85%	
				割合	39%	37%	17%	6%	100%			
△	↓	2	ホームページやマチコミメール、Teams(チームズ)等を活用し、学校の情報がよく届いている。	人数	44	60	34	20	158	66%	78%	
				割合	28%	38%	22%	13%	100%			
○	↑	3	学校は、ゴルフ体験やしめ縄作り体験、地域清掃ボランティアなどをとおして、地域についての理解が深まっている。	人数	63	73	14	8	158	86%	66%	
				割合	40%	46%	9%	5%	100%			
○	↓	4	授業内容や教え方を工夫したり、資料やICT機器(パソコン、スマートフォン)などを活用し、授業がわかりやすくなる。	人数	50	84	17	7	158	85%	86%	
				割合	32%	53%	11%	4%	100%			
○	↓	5	少人数授業やチームティーチング(2人の先生による授業)などを行いながら、きめ細やかな授業が行われている。	人数	57	74	21	6	158	83%	85%	
				割合	36%	47%	13%	4%	100%			
○	↓	6	授業をとおして、教科の知識や技術が身についている。	人数	60	71	20	7	158	83%	85%	
				割合	38%	45%	13%	4%	100%			
○	↓	7	先生方は、生徒に対して社会生活に必要なルールやマナー等の声かけを行っている。	人数	70	65	16	7	158	85%	87%	
				割合	44%	41%	10%	4%	100%			
○	↑	8	学校生活において、先生に悩みごとを相談しやすい雰囲気がある。	人数	45	73	22	18	158	75%	74%	
				割合	28%	46%	14%	11%	100%			
○	↑	9	講演会や各種の訓練を通して、交通安全・人権尊重・いじめ防止・道徳・防災などに積極的に取り組んでいる。	人数	54	85	15	4	158	88%	81%	
				割合	34%	54%	9%	3%	100%			
◎	↑	10	進路行事が充実しており、進路に関する情報発信や進路指導が適切に行われている。	人数	68	78	10	2	158	92%	86%	
				割合	43%	49%	6%	1%	100%			
○	↓	11	将来や進路の希望について、先生は熱心に相談にのってくれる。	人数	78	59	16	5	158	87%	87%	
				割合	49%	37%	10%	3%	100%			
○	↓	12	文化祭や体育祭などの学校行事は、活発に行われている。	人数	76	57	20	5	158	84%	89%	
				割合	48%	36%	13%	3%	100%			
○		13	部活動や委員会活動、ボランティア活動などは、活発に行われている。	人数	54	68	22	14	158	77%	77%	
				割合	34%	43%	14%	9%	100%			
○	↑	14	施設・設備は、安全で過ごしやすくなっている。	人数	49	74	23	12	158	78%	76%	
				割合	31%	47%	15%	8%	100%			
平均										82%	82%	

指標の見方 【 評 価 】 ◎:90%以上が肯定的 ○:70%以上が肯定的 △:30%以上が肯定的 ▲:肯定的が30%未満

【前年度比】 ↑: +5%以上 ↑: +2%以上+5%未満 ↓: -2%以上+5%未満 ↓: -5%以上

(ウ) 令和6年度 教職員による学校評価結果 [昨年度との比較]

評価	前年比	番号	質問項目					合計	参考値		
				あてはまる (そう思う)A	ややあてはまる (やや思う)B	あまりあてはま らない (あまりそう思わ ない)	あてはまらない (そう思わない)		令和6年度 A・Bの割合	令和5年度 A・Bの割合	
○	↓	1	管理職は、職員とのコミュニケーションを図り、リーダーシップを発揮している。	人数	10	14	4	0	28	86%	93%
				割合	36%	50%	14%	0%	100%		
○	↓	2	管理職は、職員の心身の健康管理に配慮するとともに、不祥事防止に必要な対応措置を行っている。	人数	10	14	4	0	28	86%	100%
				割合	36%	50%	14%	0%	100%		
◎	↑	3	本校職員は、教育方針や教育目標の具現化に向け、分掌組織の一員として業務の遂行に力を注いでいる。	人数	9	17	2	0	28	93%	90%
				割合	32%	61%	7%	0%	100%		
◎	↓	4	本校は、シラバスや年間学習指導計画・評価等について教科で十分話し合い、それに基づき生徒・保護者が満足できる授業を行っている。	人数	8	18	2	0	28	93%	100%
				割合	29%	64%	7%	0%	100%		
◎		5	本校は、授業内容や教え方を工夫したり資料等やICT機器を活用して、わかる授業を行うように努め、生徒の理解度を高めている。	人数	9	17	2	0	28	93%	93%
				割合	32%	61%	7%	0%	100%		
◎	↓	6	本校の学習評価は、生徒や保護者にていねいに説明し、公平・公正かつ適切に行われている。	人数	11	15	1	1	28	93%	98%
				割合	39%	54%	4%	4%	100%		
○		7	本校は、挨拶・マナー・身だしなみ(頭髪・服装)等の基本的な生活習慣の確立に向け、適切な指導を行っている。	人数	6	18	3	1	28	86%	86%
				割合	21%	64%	11%	4%	100%		
◎	↑	8	本校は、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーや教育相談窓口を設置し、生徒の悩みや相談に十分応える体制が整っている。	人数	17	10	1	0	28	96%	93%
				割合	61%	36%	4%	0%	100%		
◎	↑	9	本校は、講演会や各種の訓練をとおして、交通安全・人権尊重・いじめ防止・道徳・防災等の積極的な生徒指導に取り組んでいる。	人数	15	12	1	0	28	96%	93%
				割合	54%	43%	4%	0%	100%		
○	↓	10	本校は、生徒の進路目標達成に向け、キャリア教育(就業意識を高める教育)を推進している。	人数	15	10	2	1	28	89%	98%
				割合	54%	36%	7%	4%	100%		
○	↓	11	本校は、十分な情報提供を行い、学校・本人・家庭の意思疎通を図りながら、ていねいな進路指導を行っている。	人数	17	8	3	0	28	89%	98%
				割合	61%	29%	11%	0%	100%		
○	↓	12	本校は、文化祭や体育祭などの学校行事の指導に力を入れている。	人数	11	13	4	0	28	86%	98%
				割合	39%	46%	14%	0%	100%		
△	↓	13	本校は、部活動や委員会活動、ボランティア活動などの指導に力を入れている。	人数	4	10	12	2	28	50%	74%
				割合	14%	36%	43%	7%	100%		
◎	↓	14	本校は、施設・設備の衛生面や安全面に気を配り、定期的な点検や改善を行い、適切な学習環境の整備に力を入れている。	人数	6	20	2	0	28	93%	95%
				割合	21%	71%	7%	0%	100%		
◎	↑	15	本校は、個人情報などのセキュリティ管理が適切に行われている。	人数	14	14	0	0	28	100%	95%
				割合	50%	50%	0%	0%	100%		
◎	↓	16	本校は、ホームページやマチコミメール、Teams(チームズ)等を活用し、積極的に情報提供を行い、学校理解や学校PRを推進している。	人数	17	9	2	0	28	93%	95%
				割合	61%	32%	7%	0%	100%		
◎	↓	17	本校は、PTA活動やボランティア活動、地域連携を積極的に行い、開かれた学校づくりを推進している。	人数	11	15	2	0	28	93%	95%
				割合	39%	54%	7%	0%	100%		
◎	↓	18	本校は、生徒や保護者の相談に適切に対応している。	人数	18	9	1	0	28	96%	98%
				割合	64%	32%	4%	0%	100%		
△	↓	19	仕事に充実感を感じている。	人数	4	14	9	1	28	64%	81%
				割合	14%	50%	32%	4%	100%		
平均								88%	93%		

指標の見方【評価】◎:90%以上が肯定的 ○:70%以上が肯定的 △:30%以上が肯定的 ▲:肯定的が30%未満  
【前年度比】↑:+5%以上 ↑:+2%以上+5%未満 ↓:-2%以上+5%未満 ↓:-5%以上

#### (4)考察

保護者・生徒・職員の三者が共通した12項目の質問事項に答えることで、三者がそれぞれどのように評価しているのかが分かりやすくなっており、経年で学校としての改善点が分かりやすくなっている。

共通する評価項目は以下の12項目である。

①「情報発信」、②「地域連携」、③「授業工夫」、④「きめ細やかな授業」、⑤「生活指導」、⑥「教育相談」、⑦「交通安全・人権教育」、⑧「進路指導」、⑨「進路個別相談」、⑩「学校行事」、⑪「部活動・委員会・ボランティア」、⑫「施設・設備」

まずは、三者の評価を個別に考察し、その後、全体としてどのように捉えているかを見る。

#### (ア)保護者

今年度の保護者による学校評価については、16項目中全ての項目で70%を超える肯定的な評価を得ることができた。

中でも項目1から5に関しては90%を超える肯定的な評価を得ることができたことは、来年度以降も継続及び更なる上昇ができるようにしたい。

最も上昇した項目が「授業内容や教え方を工夫したり、資料やICT機器（パソコン、スマートフォン）などを活用し、授業がわかりやすくなっている。」となっており、12ポイント上昇している。しかし、生徒による評価では85%と肯定的な評価を得ているが昨年度と比較すると1ポイントダウンとなっており、保護者と生徒では感じ方が異なっていることが明らかとなった。今後もICT機器を活用し、工夫をこらした授業を進めていきたい。

2番目に上昇した項目が「少人数授業やチームティーチング（2人の先生による授業）などを行いながら、きめ細やかな授業が行われている。」となっており、11ポイント上昇している。要因としては、今年度から地域連携アクティブスクールの取組が始まり、特に1学年ではステップアップ（国・数・英の学び直し）が週1時間実施されていることが大きいと考えられる。しかし、生徒の評価を見てみると昨年度比で1ポイント減少しており、上記同様、保護者と生徒の感じ方は異なっている。

3番目に上昇した項目が「先生方は、生徒に対して社会生活に必要なルールやマナー等の声かけを行っている。」となっており、10ポイント上昇している。こちらも先の2つ同様、生徒の評価は2ポイント減少している。現在、県内全部の公立高校で校則の見直しが進められている。本校でも生徒・保護者双方の意見も取り入れつつ取組を進めていきたい。また、地域・家庭と協力した生活指導も進めて行く必要がある。

総合的に、今年度は保護者からの回答率も上がり、肯定的な評価の平均も81%から86%と5ポイント上昇した。概ね80%以上の肯定的な評価を頂いているが、「学校生活において、先生に悩みごとを相談しやすい雰囲気がある。」という項目では、肯定的な評価は70%となっており、他の項目と比較すると低い値になっており、改善を要する点である。



## (イ)生徒

生徒による学校評価は、1つの項目を除いて肯定的な評価を得られた。肯定的な評価の平均を比較しても82%で昨年度と同様であるが、項目で比較すると14項目中8項目でポイントが減少している。

特に評価の高かった「進路行事が充実しており、進路に関する情報発信や進路指導が適切に行われている。」の項目では、92%の肯定的な回答を得ており、昨年度と比較して6ポイント上昇し、唯一90%を超える肯定的な回答の項目となっている。要因として考えられるのは、今年度の3年生は民間企業を受験した生徒は、全員が1回目の試験で内定を頂くことができたり、公務員試験を受験した生徒4名全員が1次試験を突破したり、進学においてもほぼ全員が第一志望の学校に合格できたことにより、進学・就職ガイダンスの大切さが1・2学年生徒にも伝わり評価されたと考えられる。今後も生徒一人ひとりの進路実現に向けた丁寧なサポートを続けていきたい。

また、「学校は、ゴルフ体験やしめ縄作り体験、地域清掃ボランティアなどをおして、地域についての理解が深まっている。」の項目では、肯定的な回答が20ポイントも上昇した。この質問項目については、昨年度質問項目にあった「地域連携」という言葉が生徒には伝わりにくいため、具体的な表現に変えたことが奏功したと考えられる。

その他、「講演会や各種の訓練を通して、交通安全・人権尊重・いじめ防止・道徳・防災などに積極的に取り組んでいる。」の項目では、88%の肯定的な回答を得ており、昨年度から7ポイント上昇している。性教育講話やLGBTについての講話などが直近にあり、生徒の記憶に新しいことも考えられるが、年間を通じて計画的に取り組んでいる評価だと考えられる。

懸念されることとしては、「市原高校に入学して良かった。」の項目が77%の肯定的な回答となり、昨年度と比較すると8ポイントも減少していることである。保護者はこの項目について90%の肯定的な回答をしているが、実際に通っている生徒の評価が低いことは、原因を究明し、改善を図らなくてはならない。また、「ホームページやマチコミメール、Teams（チームズ）等を活用し、学校の情報がよく届いている。」の項目のみが、肯定的な評価が66%となり、70%より低くなってしまったことも同様に改善が必要である。

## (ウ)教職員

教職員による学校評価は、19項目中11項目で肯定的回答の割合が90%、17項目で80%以上の結果を得られた。

肯定的な回答の割合が100%だったものは、「本校は、個人情報などのセキュリティ管理が適切に行われている。」が挙げられた。「本校職員は、教育方針や教育目標の具現化に向け、分掌組織の一員として業務の遂行に力を注いでいる。」では、教職員が各自の担当分掌において、熱心に責任を持って取り組んでいることの現れと考えられる。「本校は、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーや教育相談窓口を設置し、生徒の悩みや相談に十分応える体制が整っている。」では、今年度よりスクールソーシャルワーカーの配置もあり、相談体制の充実が図られたことが要因と考えられる。「本校は、講演会や各種の訓練をとおして、交通安全・人権尊重・いじめ防止・道徳・防災等の積極的な生徒指導に取り組んでいる。」では、生徒の評価でも同様に見られたが、様々な講演会や訓練の充実があり、積極的な生徒指導

に取り組んでいる自負があると窺える。

しかし、全体的に見ると、19項目中13項目で肯定的評価の割合が昨年度と比較すると下降している。管理職に対する項目の「管理職は、職員とのコミュニケーションを図り、リーダーシップを発揮している。」と「管理職は、職員の心身の健康管理に配慮するとともに、不祥事防止に必要な対応措置を行っている。」では、いずれも肯定的な評価の割合が86%ではあるが、昨年度と比較するとポイントが下降していることから考えると管理職の職員への声かけや気配りなど更なる改善が必要であると考えられる。また、「仕事に充実感を感じている。」の項目では、肯定的評価の割合が70%を下回り、管理職の職員へのサポートはもちろんのこと、働き方改革の更なる推進が必要である。

最後に「本校は、部活動や委員会活動、ボランティア活動などの指導に力を入れている。」では、生徒数の減少により、部活動への加入者が少なく、野球やサッカーといった団体競技のチーム編成が単独でできない状況が複数年続いている。3年間入部者がいない部活動は募集を停止するという一方で、来年度バスケットボール部と書道部はそれに該当することが決まった。段階的に部活動の精査を進める必要が考えられる。生徒数の減少は委員会活動にも影響を与えており、大半の生徒は複数の委員会を担当していることも今後の検討課題である。

## (工)全体

保護者・生徒・職員の三者とも80%以上の肯定的評価を得ている項目は「地域連携」、「授業工夫」、「きめ細やかな授業」、「知識・技術習得」、「生活指導」、「交通安全・人権教育」、「進路指導」、「進路個別相談」、「学校行事」の共通する14項目中9項目であった。評価を平均で見ると、昨年度と比較すると保護者は86%（昨年度は81%）、生徒は82%（昨年度も82%）、職員は88%（昨年度は93%）となり、職員の5ポイントの減少は気になるところではあるが、割合としては三者とも80%以上が肯定的に捉えていると考えられる。来年度は全ての項目において、評価が上昇できるよう地域連携アクティブスクールの取組やコミュニティ・スクールの取組を前進させられるよう努力していきたい。

## 1 学校運営協議員による学校評価アンケートについて

(1)アンケート実施時期 令和7年1月

(2)調査対象及び回答数等

区分	学校運営協議員 10
回答数	10
回答率	100%
質問事項	11

※1 全て無記名で回答とした。

※2 依頼者10名中10名から回答を得た。

### (3)結果

#### ① 結果概要

区分	学校運営協議員
肯定的回答の多い項目の数 (全調査項目に対する割合) 令和6年度	11項目 100%
否定的回答の多い項目の数 (全調査項目に対する割合) 令和6年度	0項目 0%

※ 調査項目は今年度から設定したため経年比較はない。

※ 肯定的回答の多い項目：「そう思う」・「ややそう思う」の割合が70%を超えるもの

※ 否定的回答の多い項目：「そう思わない」・「あまりそう思わない」の割合が50%を超えるもの

## ② 詳細結果

令和6年度 学校運営協議員による学校評価結果										
評価	番号	質問項目		あてはまる (そう思う) A	ややあてはまる (やや思う) B	あまりあてはま らない (あまりそう思わ ない)	あてはまらない (そう思わない)	わからない	合計	令和6年度 A・Bの割合
◎	1	市原高校の教育目標・教育方針は、ホームページ等で分かりやすく示されている。	人数	7	3	0	0	0	10	100%
			割合	70%	30%	0%	0%	0%	100%	
◎	2	市原高校は、教育活動の内容についてホームページ等で地域や外部に知らせている。	人数	5	5	0	0	0	10	100%
			割合	50%	50%	0%	0%	0%	100%	
◎	3	市原高校は、ゴルフ体験やしめ縄作り体験、地域清掃ボランティアなどをおして、地域との連携を積極的に行っている。	人数	6	4	0	0	0	10	100%
			割合	60%	40%	0%	0%	0%	100%	
◎	4	市原高校の教員は、教育活動に熱心に取り組んでいる。	人数	9	0	1	0	0	10	90%
			割合	90%	0%	10%	0%	0%	100%	
◎	5	市原高校の教員は、生徒に対して社会生活に必要なルールやマナー等の声かけを行っている。	人数	4	6	0	0	0	10	100%
			割合	40%	60%	0%	0%	0%	100%	
◎	6	市原高校は、講演会や各種の訓練を通して、交通安全・人権尊重・いじめ防止・道徳・防災などに積極的に取り組んでいる。	人数	6	4	0	0	0	10	100%
			割合	60%	40%	0%	0%	0%	100%	
◎	7	市原高校は、進路行事が充実しており、進路に関する情報発信や進路指導が適切に行われている。	人数	6	4	0	0	0	10	100%
			割合	60%	40%	0%	0%	0%	100%	
◎	8	市原高校の文化祭や体育祭などの学校行事は、活発に行われている。	人数	6	4	0	0	0	10	100%
			割合	60%	40%	0%	0%	0%	100%	
○	9	市原高校の部活動や委員会活動、ボランティア活動などは、活発に行われている。	人数	4	4	2	0	0	10	80%
			割合	40%	40%	20%	0%	0%	100%	
○	10	市原高校の施設・設備は、安全で過ごしやすくなっている。	人数	4	3	3	0	0	10	70%
			割合	40%	30%	30%	0%	0%	100%	
◎	11	私は、地域に市原高校があつて良かったと感じている。	人数	10	0	0	0	0	10	100%
			割合	100%	0%	0%	0%	0%	100%	
									平均	95%
指標の見方【 評 価 】 ◎:90%以上が肯定的 ○:70%以上が肯定的 △30%以上が肯定的 ▲:肯定的が30%未満										
【前年度比】 ↑:+5%以上 ↑:+2%以上+5%未満 ↓:-2%以上+5%未満 ↓:-5%以上										
※昨年度は全て記述回答だったため、前年度との比較はありません。										

### (4)結果と考察

学校運営協議員からのアンケートでは、11項目中9項目で肯定的な回答の割合が100%となった。また、肯定的な回答の割合が2項目で70%以上となった。「市原高校の部活動や委員会活動、ボランティア活動などは、活発に行われている。」では、あまりあてはまらないが20%となっており、生徒数の減少による部活動の加入率の低さの現れとなっている。「市原高校の施設・設備は、安全で過ごしやすくなっている。」では、校舎改修の延期に対する評価と考えられる。少子化が進む中で、生徒数を確保することの困難はこれからも予想されるが、地域の中学校のニーズに応えられる部活動の在り方を検討して行く必要がある。